

母体胎児監視装置について

仕 様 書

2026 年 8 月

埼玉県済生会川口総合病院

調達物品に備えるべき技術的要件

1	セントラルシステムは以下の要件を満たすこと。
1-1	セントラルシステムはCTG(Cardiotocogram)及び胎児心拍数、子宮収縮活動を表示する機能を有すること。また、胎児心拍数の表示に関しては品胎まで表示する機能を有すること。
1-2	母体バイタルはNIBP、SpO2、SI値を表示する機能を有すること。
1-3	測定項目についての監視情報は、常に把握できるよう全て同一画面上に表示する機能を有すること。
1-4	CTG表示の各波形については、視認性を確保するため線の太さ・色を選択して表示する機能を有すること。
1-5	監視中のCTGデータ（以下リアルタイムCTG）及び保存されたCTGデータ（以下過去CTG）は一画面15～30分間の範囲でトレンド表示する機能を有すること。
1-6	CTG表示は、胎児心拍数の表示スケールを30～240bpm範囲以上と50～210bpm範囲以上のどちらかを任意で設定する機能を有すること。
1-7	長時間CTG表示は、60分のCTG表示と任意の拡大した20分を同時に表示する機能を有すること。もしくは同等の機能を有すること。
1-8	リアルタイムCTG多床表示は、接続数に応じて1画面に30床以上を、分割数の限定なく自動で分割表示する機能を有し、また、分割表示中であっても、各床の表示サイズは各ベッドと同等サイズで表示する機能を有すること。
1-9	リアルタイムCTG多床表示は、分娩監視装置の稼働台数に応じた自動分割表示、または特定ベッド表示を選択、表示する機能を有すること。なお、特定ベッドの指定は予めグループとして登録する機能を有すること。
1-10	リアルタイムCTG多床表示は、リスク管理上必要な患者ID・患者氏名・警報状態を測定データ毎に表示する機能を有すること。
1-11	過去CTGデータ表示は、CTG表示画面に同一患者データリストをタブで表示する機能を有し、タブをワンクリックすることで該当のデータを表示する機能を有すること。
1-12	CTGデータの一覧は、ベッド名・患者ID・氏名・計測日時を表示し、保存済みのCTGを参照する機能を有すること。
1-13	CTGデータ表示は、測定時に保存されたCTG、リモートマーク表示・各種イベントマーク表示・貼り付けメモ表示を再生する機能を有すること。
1-14	分娩監視装置が母体・胎児心拍数重複情報を送信した場合、セントラルモニタ上で【?】を表示し、心拍の入れ変わりを確認する機能を有すること。
1-15	現在参照している特定妊婦のCTGと、現在または過去における同一妊婦の計測CTGを一画面で表示、確認する機能を有すること。
1-16	多胎の測定時において、ワンクリックで胎児1のみの波形表示、胎児2のみの波形表示に切り替える機能を有すること。
1-17	測定中に共有したい内容をメモで貼り付けるイベントボード機能を有すること。また、入力情報は測定中、常に表示する機能を有すること。
1-18	データの正確性を高めるため、定期的に分娩監視装置の時刻を自動で同期する機能を有すること。
1-19	警報状態となったベッドは、CTG表示画面枠を点滅させることにより警報状態を報知し、またベッドが非表示状態であっても警報状態を点滅により報知する機能を有すること。
1-20	分娩監視装置の内測ソース情報（IUP/dECG）を収集し、計測画面で表示する機能を有すること。
1-21	夜間等の運用に合わせ、あらかじめ設定した時間帯に音量及び画面表示を自動的に切り替える機能を有すること。また、同機能については診療エリアごとの運用実態に即し、筐体ごとに個別設定をする機能を有すること。
1-22	分娩監視装置に一時保存された計測データをシステムへ移行する機能を有すること。
1-23	母体管理機能の一環で母体に関する特記事項を計測画面にアイコン表示し、簡便なアクセスを可能にする機能を有すること。
1-24	母体バイタル測定機能を有する既存分娩監視装置から計測した血圧/SpO2情報について、計測から一定時間経過後に時間経過を強調する機能を有すること。
1-25	クライアント端末（2台）は、セントラルシステムと同等に各種情報を参照する機能を有すること。

備考

参考機種：ATOM Central System CS3

アトム母体胎児監視システム

参考機種名以外で応札する場合は、発注担当者まで同等品であることを証明する書類（提案協議書及びカタログ等を含む）を提出し、規格等の確認を経て、承認を得る事。